ご使用の手引き（取扱説明書）

ご使用前に、このご使用の手引きを十分、お読み下さい。
このご使用の手引きはお使いになる方が、いつでも見られるところに保管して下さい。

安全にご使用いただくために

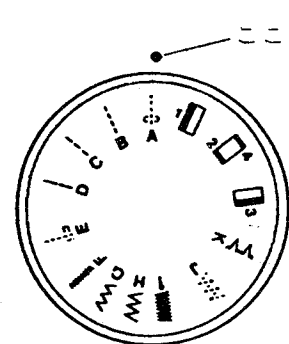
このミシンを、安全にご使用していただくために、以下のことがらを守って下さい。
このミシンは、日本国内向け、家庭用です。FOR USE IN JAPAN ONLY

⚠ 警告　感電、火災の恐れがあります

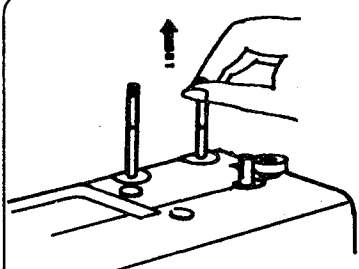
1. 一般家庭用交流電源１００Ｖでご使用下さい。
2. 以下のような時は、電源スイッチを切り、電源プラグを引き抜いて下さい。
   - ミシンのそばを離れるとき
   - ミシンを使用したあと
   - ミシン使用中に停電したとき

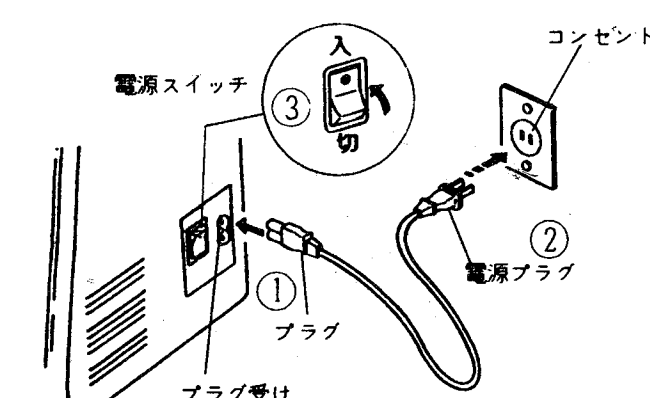
⚠ 注意　感電、火災、けがの原因となります

1. お客様自身での分解、改造はしないで下さい。
2. ミシンの操作時は、ベッドふた、面板などのカバー類を閉じて下さい。
3. ミシンの操作中は、針から目を離さないようにし、針、はずみ車、天びんなどすべての動いている部分に手を近づけないで下さい。
4. 曲がった針はご使用にならないで下さい。
5. 縫製中に布を無理に引っ張ったり、押したりしないで下さい。
6. 針及び押えは、確実に固定して下さい。
   又、押えは縫いに合ったものをご使用下さい。
7. お子様がご使用になるときや、お子様の近くでご使用されるときは、特に安全に注意して下さい。
8. 以下のことをするときは、電源スイッチを切って下さい。
   - 針、針板、押え、アタッチメントを交換するとき
   - 上糸、下糸をセットするとき
   - ランプを交換するとき
     （ランプが冷えてから行って下さい。）
   - ご使用の手引きに記載のあるミシンのお手入れを行うとき
9. ミシンに以下の異常があるときは、速やかに使用を停止し、お買い上げの販売店にて点検、修理、調整をお受け下さい。
   - 正常に作動しないとき
   - 落下などにより破損したとき
   - 水に濡れたとき
   - 電源コード、プラグ類が破損、劣化したとき
   - 異常な臭い、音がするとき
10. 電源コードを取扱うときには、以下のことがらに注意して下さい。
   - コンセントを抜くときには、必ずプラグを手で持って抜いて下さい。
   - コードを無理に引張ったり、折曲げたりしないで下さい。
   - 濡れた手で使用しないで下さい。

1.各部のなまえとはたらき

針をあげてダイヤルをまわし、模様をえらびます。

※針が布にささったままで模様選択ダイヤルをまわすと針がまがったり、折れたりする原因になります。

模様選択ダイヤル

糸立て棒は、ミシン本体に収納されていますので、いっぱいに引き出してセットしてください。
収納するときは、押しさげてください。

糸立て棒

①電源スイッチを切ってから、プラグをプラグ受けにさしこみます。
②電源プラグをコンセントにさしこみます。
③スタート・ストップボタンが「ストップ」の位置にあることを確認し電源スイッチを入れます。

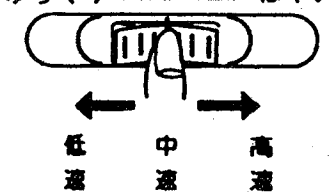
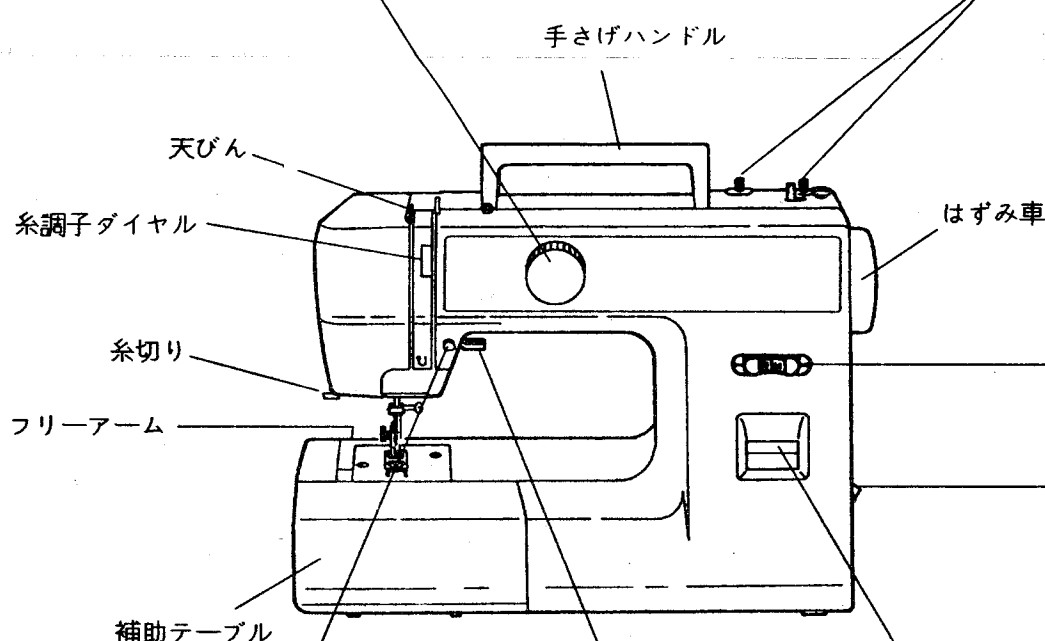
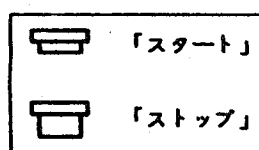
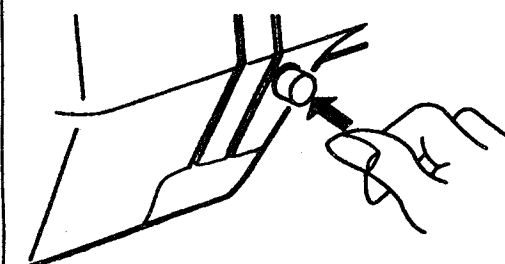
※電源は、一般家庭用（１００Ｖ５０/６０ＨＺ）です。
※ミシンを使わないときは、電源プラグを抜いてください。

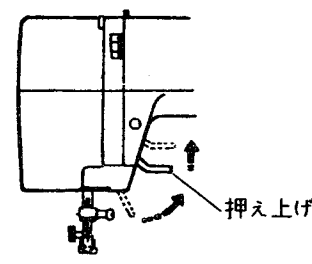
⚠ スタート・ストップボタンが「スタート」の位置（押した位置）で、電源スイッチが「入」になっている場合は、電源プラグをつなぐと同じにミシンが動きだし危険です　必ずスタート・ストップボタンを「ストップ」の位置にしてください。

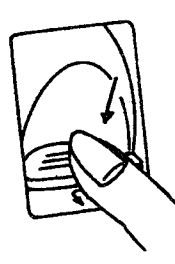
電源スイッチ及び電源のつなぎかた

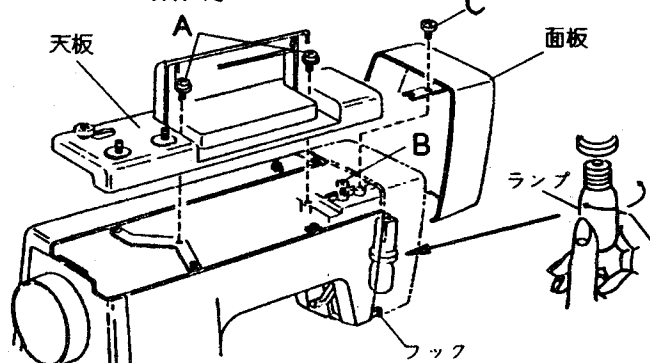
スピードコントロールつまみ

ゆっくり　はやい

低速　中速　高速

ぬう速さは、自由にセットできますのでお好みの速さに、つまみをセットしてください。カーブや細かいところをぬうときは、「ゆっくり」にセットしてぬいましょう。

スタート・ストップボタン

ボタンを押すとミシンはスピードコントロールつまみでセットした速さでぬいはじめます。もう一度押すと停止します。

押え上げ

はずみ車を軽く手前にまわし、針を最上部にあげます。押え上げをあげさげして、押えをあげたり、さげたりします。
押え上げを、あげた位置よりさらに高くあげると、押えの位置もさらにあがります。

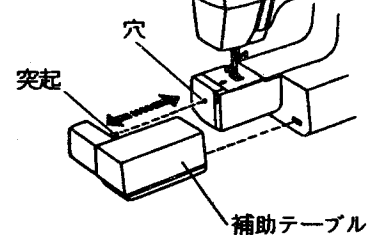
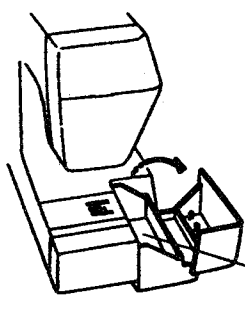
返しぬいレバー

返しぬいレバーを押している間は返しぬいをし、指をはなすと、前進ぬいに戻ります。

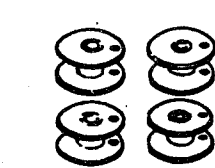
照明ランプ

★つけかた、消しかた
電源スイッチの「入」、「切」によって点滅します。

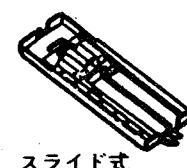
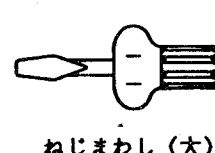
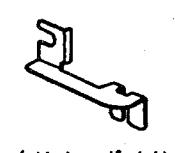
★ランプのとりかえかた
① 締めねじＡ（２ケ）を外し、天板を外します。
締めねじＢをゆるめ、締めねじＣを外し、フックを外して面板を外します。
② ランプをはずすときは、左へまわします。
ランプをつけるときは、右へまわします。
③ ランプのとりかえが終わったら、面板を取付けてから、天板を取付けます。

⚠ ランプのとりかえは、電源スイッチを切ってから行なってください。また、ランプは、冷めてから交換してください。

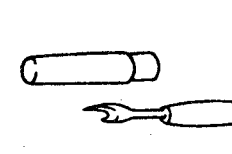
2.フリーアームにするとき

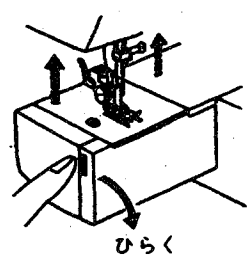
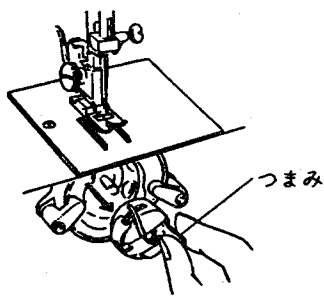
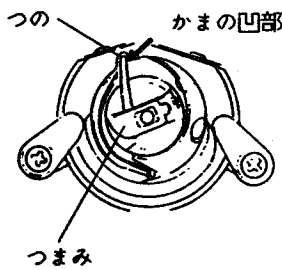
補助テーブルを横に引いてはずすとフリーアームになります。

★補助テーブルのつけかた

★小物入れ
補助テーブルのフタを開けると小物入れになります。付属品や小物類を収納するために使います。

3.標準付属品

ボビン

針

スライド式ボタンホール押え

ねじまわし（大）

くけぬいガイド

ダーニングプレート

目ほどき

ファスナー押え

4.ボビンケースのはずしかた、入れかた

針と押えをあげベットふたをひらきます。

〔はずしかた〕
ボビンケースのつまみを持って、とりだします。

〔入れかた〕
ボビンケースのつまみを持って、かまにとりつけます。

※入れるときには、ボビンケースのつのを、かまの凹部に合わせ、奥の方へいっぱいに入れてから、つまみをはなし、ベットふたをしめます。

5.ボビンに下糸を巻くには

① はずみ車を引き出します。

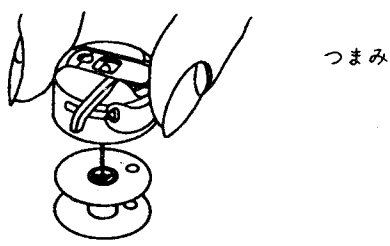
② 押えをあげ、糸こまからひきだした糸を、糸巻き糸案内にかけます。

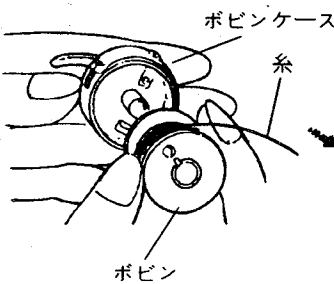
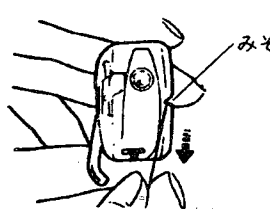
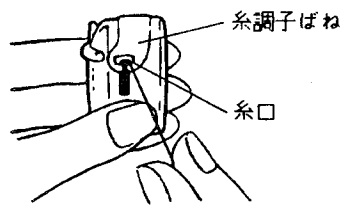
③ 糸巻き軸　ボビン押え
ボビンの穴に内側から糸を通し、ボビンを糸巻き軸にさしこみ、ボビン押えの方に押しつけます。

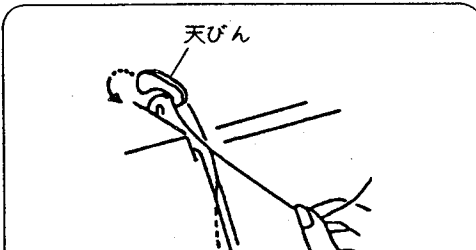
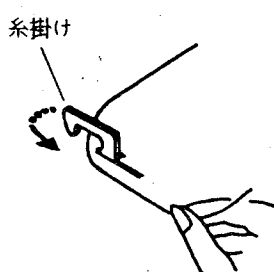
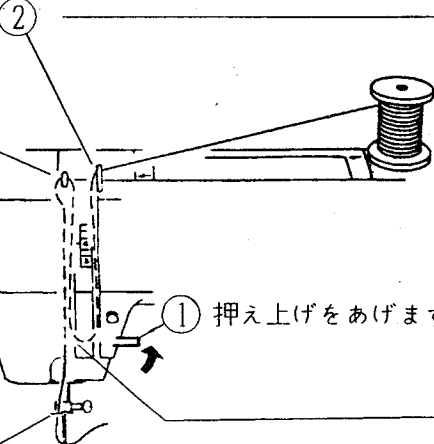
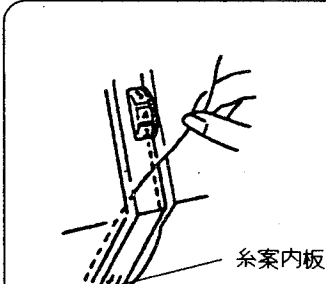
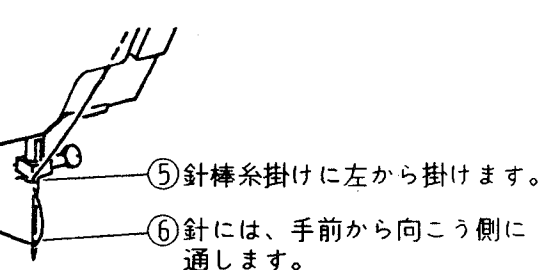
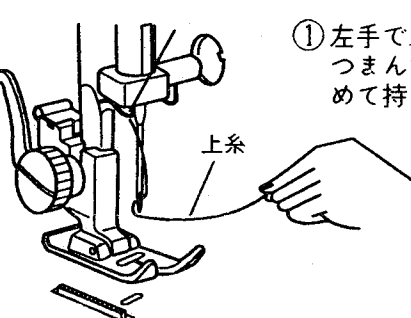
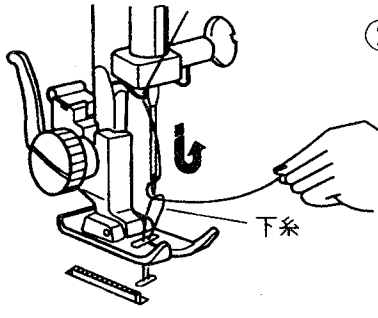
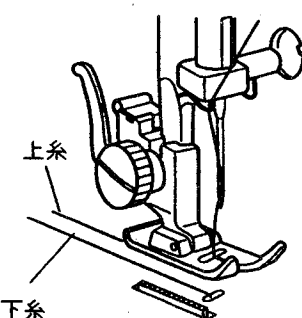
④ 糸の端をつまんだまま、ミシンをスタートし、巻きはじめます。
糸がボビンに3重ぐらい巻きついたら、糸を離します。

⑤ 巻きおわったらミシンを止めてボビンをもとに戻して、穴のきわで糸を切り、はずみ車を押し込みます。

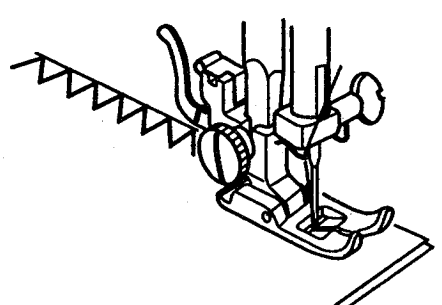
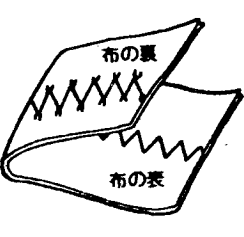
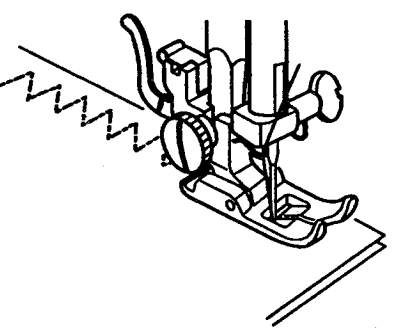
(注意)
＊糸巻き軸を動かす時は、必ずミシンを止めてください。
＊下糸巻きがおわったら、必ずはずみ車を元に(はずみ車を押し込む)戻してください。

6.ボビンのはずしかた

ボビンケースのつまみをとじて下に向けると、ボビンがはずれます。

7.ボビンをボビンケースに入れるには

① 糸の端を、図の方向(時計回り)にたらして、ボビンケースにいれます。

② みぞに糸を通します。

③ 糸を引いて、糸調子ばねの下を通し、糸口に引き出します。糸は10cmほど出しておきます。

8.上糸を掛けるには

9.下糸を引きあげるには

①左手で上糸の端をつまんでややゆるめて持ちます。

②右手ではずみ車を手前にまわし針をいったんさげてから再びあげます。天びんが最上部にきたら上糸を軽く引くと、下糸が「輪」になって出てきます。

③引き出した下糸と上糸を、押えの下から向こう側へ、15cmほど引き出しそろえておきます。

10.糸調子を出すには

11.押えのはずしかた、つけかた

12.直線ぬい

セットの目安

糸調子ダイヤル
・・・・・2～6

模様選択ダイヤル・・
A B C D E

押え・・・ジグザグ押え

★ぬいはじめ

糸と布を左手で押え、はずみ車を手前にまわして、ぬいはじめの位置に針をさします。押えをさげてゆっくりぬいはじめます。

※ぬいはじめのほつれ止めは、返しぬいレバーを押しながら、数針返しぬいをします。

★ぬい方向をかえる

ミシンを止め、針を布にさしたままで押えをあげ、布をまわしてぬい方向をかえます。

★ぬいおわりと糸の切りかた

返しぬいレバーを押しながら、数針返しぬいをします。押えをあげて、布を向こう側に静かに引き出します。

糸切りで、糸を切ります。

13.ジグザグぬいと裁ち目かがり

セットの目安

糸調子ダイヤル
・・・・・2～5

模様選択ダイヤル・・
F G H I

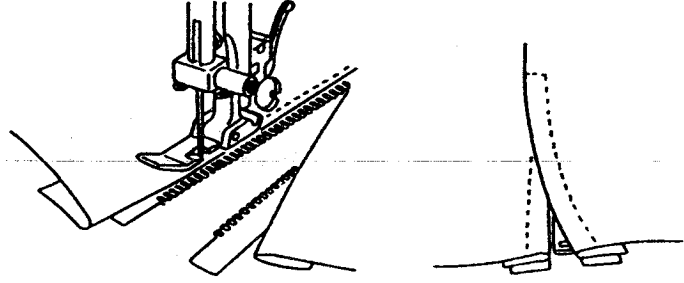
押え・・・ジグザグ押え

裁ち目のほつれ止めをするときには、針が右側にきたとき、布のきわからはずれるかはずれないかぐらいのところに落ちるようにします。

※試しぬいをして、適切な糸調子をだしてください。

※目のとびやすい伸縮性の布や、目のつんだ布には、ブルー針(別売)を使用すると効果があります。

《ジグザグぬいの糸調子》

ジグザグぬいの糸調子は、布の裏側に上糸が少し出るくらいに調節します。

14.トリコットステッチ

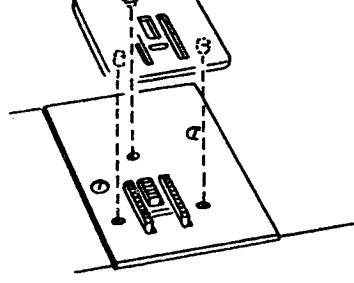
セットの目安

糸調子ダイヤル
・・・・・3～6

模様選択ダイヤル・・ J

押え・・・ジグザグ押え

ほつれやすい布や伸縮性のある布のほつれ止め、布端の返り防止などに利用します。
ぬいしろを少し余分にとってぬい、余分なところをぬい目近くで切り落します。

※目のとびやすい伸縮性の布や目のつんだ布には、ブルー針(別売)を使用すると効果があります。

15.くけぬい

セットの目安

糸調子ダイヤル
・・・・・1～標準

模様選択ダイヤル・・ K

押え・・・ジグザグ押え
くけぬいガイド

(ぬい方)

① 布を図のように、上の折り山と下の折り山を約0.4～0.7cmほどずらします。

※アイロンで押えると、きれいに仕上がります。

② 押えをあげて、押えホルダー止めねじを2～3山ゆるめ、くけぬいガイドをとりつけます。

③つけ終わったら、ねじをしめます。

④ガイド足に、折り山をぴったりあててぬいます。

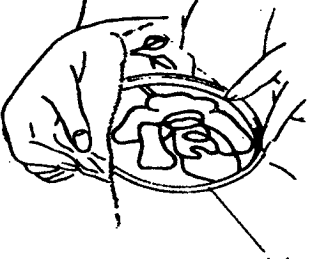
⑤ぬいおわったら、布をひろげます。

16.ファスナーつけ

セットの目安

糸調子ダイヤル
・・・・・3～6

模様選択ダイヤル・・ B

押え・・・ファスナー押え

①台布を布にしつけて止め、スライダーをしめます。

②上糸・下糸を押えの下から向こう側に引き出します。

③ファスナーの左側をぬうときは、針がむしのきわに落ちるようにします。

④中ほどまでぬったら、針を布にさしたままで押えをあげ、スライダーを押えの向こう側にずらして、押えをおろし、残りをぬいます。

⑤ファスナーの右側をぬうときは、布をまわして、布の上からむしのきわに針が落ちるようにぬいます。
左側をぬうときと同様に、中ほどでスライダーをずらしてぬいます。

17.ダーニングプレートのとりつけ

ダーニングプレートの裏についているピンを針板の穴におさめます。ダーニングプレートは、ししゅうやつくろいぬいなど、ミシンが布を送らないようにするときに使います。

18.ししゅう

セットの目安

糸調子ダイヤル
・・・・・0～標準

模様選択ダイヤル・・ A

＊押えと押えホルダーをはずします。
＊糸調子ダイヤルは、布の裏側に上糸が少し出るくらいにゆるくします。
＊ししゅう枠は、標準付属品には含まれておりません。

＊模様は、あらかじめ布の上にチャコペンなどで印をつけてください。

①布をししゅう枠にピンと張ります。

②上糸の端を左手でつまみ、針をぬいはじめの位置にさし、押え上げをさげます。

③はずみ車を手前にまわして針をあげ、上糸を引いて、下糸を布の上に引き出します。

④左手の指先で上糸と下糸を押えて止めぬいをし、余分な糸を切ります。

⑤ししゅう枠を手で下に押しつけるようにし、ゆっくりぬいながら、針が布から抜けている間にししゅう枠を動かし、模様をぬいます。

＊動いている針に手を近づけすぎて、刺さないように気をつけてください。

19. ボタンホール

セットの目安

糸調子ダイヤル ・・・・・1～5
模様選択ダイヤル・・
1 → 2 4 → 3 → 2 4
押え ・・・ボタンホール押え

※ぬうものと同じ布で試しぬいをして、セットを確かめましょう。
※伸縮性のある布には、裏に伸びにくい芯地をはってください。

《ぬい方》

① 針をあげて模様 1 選び、上糸を押えの穴から下に通し、横に引き出して下糸とそろえ、押えを手前いっぱいまで引き出してスタートマークを合わせます。

② ぬい始めの位置(A点)に針を刺して押えをおろし、ミシンをスタートさせます。左側を必要な長さ(B点)までぬってミシンを止めます。

③ 針をあげて模様 2 4 を選び、かんぬきを5針くらい(C点)までぬい、ミシンを止めます。

④ 針をあげて模様 3 を選び、左側と同じ長さ(D点)までぬい、ミシンを止めます。

⑤ 針をあげて模様 2 4 を選び、かんぬきを5針くらいぬいます。

⑥ 押え上げをあげて布を引き出し、上糸・下糸を10cmくらい残して切ります。上糸を布の裏に引き出し、上糸と下糸をむすびます。

⑦ かんぬきの内側にまち針をさし、目ほどきでかがった糸を切らないように中央部分を切りひらきます。

★芯入りボタンホール

① 芯糸の輪を押えの後ろ側にあるつのに掛け、押えの下から手前に、平行になるように引き出し、前側の三つ又にはさみます。
ぬいはじめの位置に針をさし、押えをさげます。

② ボタンホール手順と同じようにぬいます。

③ 左側の芯糸を引いてたるみをなくし、余分な芯糸を切ります。

20. 布と糸と針の関係及び針のはずしかた、つけかた

布に適した糸と針の目安

布		糸	針
うすい布	クレープ、デシン、ボイル、ローン、オーガンジー、ショーゼット	細手絹糸 細手綿糸 (細手化繊糸)	9 番 または 11 番
普通の布	普通もめん、ピケ、サージ、その他一般服地	絹糸50番 綿糸50番～80番 (化繊糸50番～60番)	11 番 または 14 番
厚い布	デニム、ツィード、ギャバジン、コート地	絹糸50番 綿糸40番～50番 (化繊糸40番～50番)	14 番 または 16 番

※一般に、うすい布には細い糸と細い針を、厚い布には太い糸と太い針を使用します。この表を目安に、糸と針を選び、試しぬいをして確かめてください。

※原則として、上糸と下糸は、同じものを使用してください。

※伸縮性のある布（ジャージー、トリコット）や目のとびやすい布地などには、ブルー針（別売）を使用すると効果があります。

⚠ 針のとりかえは、電源スイッチを切ってから行なってください。

〔はずしかた〕
針止めねじを手前にまわしてゆるめ、針をはずします。

〔つけかた〕
針の平らな面を向こう側に向けて、針止めにさし、ピンにあたるまで押し込み針止めねじをかたくしめます。

21. 送り歯の手入れ

① 針と押えをはずします。

② 針板のしめねじをはずして、針板をはずします。

③ 送り歯のごみを、はけ・ブラシなどで手前に落とします。

④ 針板をつけて、ねじをしめます。

22. かまの手入れ

大がまふた押え

ボビンケース

中がま

大がまふた

① 針をあげて、ベッドふたをあけ、ボビンケースをはずします。

② 大がまふた押えを左右にひらき、大がまふたと中がまをはずします。

③ ブラシでかまの内部を掃除し、矢印のところに1～2滴ミシン油を注油して、布で軽く拭きとります。

④ 中がまを油布で拭きます。

⑤ はずしたときと逆の順序でくみつけます。

23. ミシンの調子が悪いとき

調子が悪いとき	その原因	なおしかた
上糸が切れる。	1.上糸の掛けかたがまちがっていたり、糸が必要以外のところにからみついている。 2.上糸調子が強すぎる。 3.針がまがっていたり、針先がつぶれている。 4.針のつけかたがまちがっている。 5.布に対して針や糸が細すぎるか太すぎる。	上糸を正しく掛けなおす。 上糸調子を弱める。 針を交換する。 正しくつける。 適切な針や糸をえらぶ。
下糸が切れる。	1.ボビンケースに下糸の通しかたが、まちがっている。 2.ボビンケースの中やばねの中に、ごみがたまっている。	正しく通しなおす。 ボビンケースを掃除する。
針が折れる。	1.針のつけかたが、まちがっているか、針がまがっている。 2.針を布にさしたままで、模様選択ダイヤルをまわした。 3.布を無理に引いた。 4.布に対して針が細すぎる。	針を交換するか正しくつけなおす。 針を布より上にあげてからダイヤルをまわす。 布を無理に引かない。 針を交換する。
ぬい目がとぶ。	1.針のつけかたがまちがっているか、針がまがっている。 2.布に対して針や糸が細すぎるか太すぎる。 3.伸縮性のある布や目のつんだ布にブルー針を使っていない。 4.上糸の掛けかたがまちがっている。	針を交換するか正しくつけなおす。 適切な針や糸を選ぶ。 ブルー針(別売)を使う。 上糸を正しく掛けなおす。
ぬい目がしわになる。	1.上糸または下糸の調子が強すぎる。 2.上糸・下糸の掛けかたがまちがっていたり、糸が必要以外のところにからみついている。	糸調子を適切にする。 糸を正しく掛けなおす。
ぬい目に輪ができる。	1.上糸または下糸の調子が合っていない。 2.布に対して針や糸が細すぎるか太すぎる。 3.上糸や下糸の掛けかたがまちがっている。	糸調子を適切にする。 適切な針や糸を選ぶ。 糸を正しく掛けなおす。
布送りがうまくいかない。	1.送り歯に糸くずがたまっている。	送り歯を掃除する。
ミシンの回転が重い。 音が高い。	1.送り歯やかまに、ごみや糸くずがたまっている。 2.かまの油がきれている。	掃除する。 注油する。

お客様相談コーナー

★ジャノメミシンでは全国180近くの直営支店で万全のアフターサービスをしております。この手びきに書かれている方法で直らないときは、お近くの支店へご連絡ください。
★お問い合わせの際は、この手びきをお読みになりながらお電話くださると係員も故障の原因や箇所がわかって便利です。
★アフターサービスについて、ご相談、ご要望がございましたら、本社お客様相談室へ何なりとお申しつけください。

仕様	
使用電圧	100V 50/60Hz
消費電力	50W/ランプ12W
外形寸法	幅38.5cm×奥行15.3cm×高さ29.4cm
重量	6.5Kg (本体)
使用針	家庭用 HA×1
縫速度	毎分700回転

蛇の目ミシン工業株式会社
〒 104-8311 東京都中央区京橋3-1-1
本社・お客様相談室 TEL 03(3277)2200
743800367